

Broaden your horizons 62 ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。

東日本大震災から1年半が経ちました。私が第47代部会長を務めさせていただいている日本青年会議所医療部会としては6度目になる、被災地・気仙沼の復興支援に先日行ってきました。仙台から車で2時間半。道沿いには、まだ所々にがれきの山が広がっていました。震災直後のデコボコ道は整備され、津波が押し寄せた場所にも草が生い茂り、生々しい傷跡が消えかけていました。そして、穏やかな海……。しかし、ここに9.8mの防潮堤を築き、町を囲うという話が国から出ているそうです。そうなると、全く海が見えなくなってしまう。「自然を生かした町作りをしてきたのにそれでいいのか?」と思い悩んだ魚町・南町内湾地区の町民は、復興まちづくりコンペを企画しました。港町文化を残し、津波からの防災と減災を考慮したグッドアイデアに期待を寄せています。

仮設住宅は、定員4人で、4畳半が2部屋です。洗濯機も冷蔵庫も炊事場も一部屋に集中しています。「私たち、震災前は200坪の家に住んでいたのに……」というお話を聞き、とても切なかったです。医療費の全額補助も10月1日で終わるそうです。だから今、駆け込みで薬をもらっておこうという方で、医療機関は毎日いっぱいです。また、サウジアラビアが援助してくれたガスも底をつくそうです。サウジアラビア、粹なことをしてください。ありがとう! 10カ月も持ちこたえることができました。

でも、支援にも限りがあります。自治体会長は、「とにかく関心を持ってくれただけでもありがたい。私たちはこれからが大変なんだ」と何度もおっしゃっていました。「やり続けること」というのは何でもそうですが、難しいものです。支援のために自分に何ができるのか、何をすればよいのか……。震災直後のブログに書いたことを今一度思い出しました。「頭のあるヤツは知恵を出そう! 力のあるヤツは力を出そう! 金のあるヤツは金を出そう! 何もできないヤツは元気を出そう!」——。松山千春さんの言葉です。東北の人たち、がんばれ!

お知らせ 9月22日(土・祝)にメディセレ東京校(高田馬場)で、「次世代の薬剤師を創る会」を開催します。簡易懸濁法を確立した昭和大学倉田なおみ先生と、吸入指導で有名な大林浩幸先生に講演していただきますので、お時間のある方は是非お越しください!

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子